

導入事例

メモリー式ハンディを利用した販売管理用データ収集システム



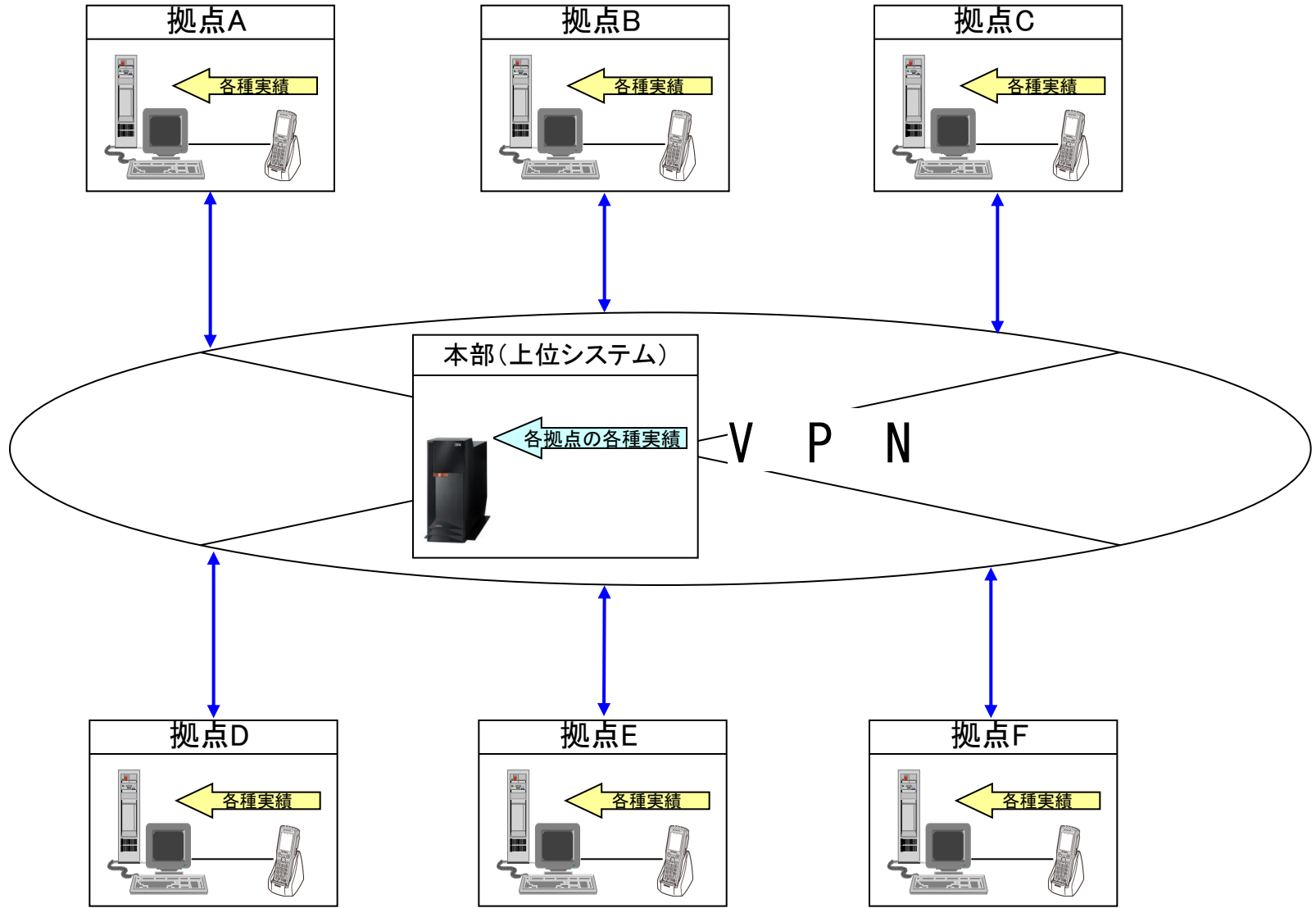
株式会社 セカンドオフィス

兵庫県神戸市中央区江戸町101 三共生興スカイビル

TEL 078(326)8818 FAX 078(326)8814

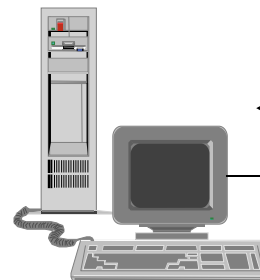
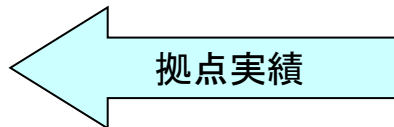
件名	メモリ式ハンディを利用した販売管理用データ収集システム
業種	製造業
規模	50台
導入された製品	KEYENCE社製 BT-1000
概要	メモリ式ハンディを利用し、売上、支給、在庫、出庫、棚卸の各実績データの収集及び出荷時の誤出荷チェック(ポカよけ)を行い、ハンディで収集された各実績データを上位システム(AS/400)に取り込む事により、販売管理システムとの連動を行っている。 ハンディを導入する事により、業務の効率化実現。

全体システムイメージ図

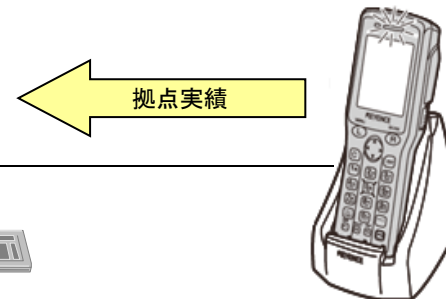




上位システム



拠点PC



メニュー Ver.1.0.0	
1:品番チェック(1:1)	
2:品番チェック(1:N)	
3:棚卸入力	
4:売仕入支給伝票入力	
5:売外支給入力	
6:入庫入力	
7:出庫入力	
8:汎用入力	
9:品番チェック設定	
0:全送信	
13:48	

品番チェック(1:1)	
得意先:	■■■■
得意先品番:	
当社現品票品番:	
F3:メニュー	
16:14	

入庫入力	
担当:	■■■■
入荷日:	2012/04/09
入庫元:	
品番:	
F2:修正	F3:メニュー
14:54	

汎用入力	
担当:	■■■■
日付:	2012/04/09
取引先:	
品番:	
F2:修正	F3:メニュー
15:10	

棚卸入力	
担当:	■■■■
棚卸年月:	1203
ゾーン:	
得意先:	
品番:	
F2:修正	F3:メニュー
17:45	

◆ 処理の流れ

- ① メニューより、実施する処理を選択
 - ② 各画面に従って必要な情報を入力する。
 - ③ ハンディ内部に蓄積された各種実績情報をクレードル経由にて、拠点PCに送信を行う。
 - ④ 各拠点PCより、上位システムにファイル転送を行う。
- ※ ハンディ画面はイメージです。